

なのはな

～春色の季節の中で～

NPO法人 なのはな
◇あおぞらキンダーガーデン
◇まほろば
◇わとと・あおぞら
〒420-0961 静岡市葵区北226-1
TEL/FAX 054-246-2213
E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp
 npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp
URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

花も、風も、光も春色に染まるこの頃。

4月1日、小規模認可保育園「なのはなガーデン(定員18人・0-2歳児)」がスタートしました。新しい出会いの入園式に参加して、子ども達の小さな瞳が輝き、未来を創る主人公になる事を心に留め、子ども達を真ん中に保育創造を進めていきたいと思ったものでした。そして、あおぞらキンダーガーデンは、幼児のみの教育施設(幼稚園・保育園の両方の機能を持つ3-5歳児対象)として、保育創造を行なっていきます。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

4月は、新しい出会いの季節です。

子育て支援センター(わとと・あおぞら/城東子育て支援センター)も発達支援まほろばの活動にも新しい出会いがあります。

新しい出会いは、嬉しさと共に不安があるのは当たり前です。話すことで、喜びは2倍に、悲しみは1/2になるのですから、出会ったスタッフに声をかけていただき、少しずつ少しずつ新しい生活に慣れていきましょうね。

子ども達の持つ『可能性』に働きかけるのが教育の営みですが、子育ても同じですね。

子どもを決め付けず、変わっていく事を信じて子育ても進めて行きましょうね。

子ども達の笑顔が増えること請け合いです。

そして、輝く子ども達に負けないよう、大人達は、今年も子育てをうーんと楽しみましょうね!

生まれ、出会った命。大切に、大切に育てていきましょう!!

子育ては、

ゆっくり・じっくり・丁寧に・そして優しく ですね。

どうぞ、今年度もスタッフ一同よろしくお願ひいたします。

(おか)

あおぞらだより

3月に14人のこども達があおぞらを飛び立って行きました。3月21日に一年生になるよパーティーで卒園式を行った後日に、園にお泊りをしました。

9月からみんなが6歳になったらお泊りしよう決め、3月生まれのお友だちの誕生日に合わせたお泊り会でした。

(9月の時点で一度お泊りの話が出たのですが、その時は「どーしてもお母さんがいなきゃ嫌」というお友だちがいて、「いつなら泊まれるの?」とどーしても泊まりたいお友だちに聞かれ「みんなが6歳になったら」と決まったのでした。)

お泊りの内容は、もちろんみんなで考え「当日お休みだったお友だちともう一度一年生になるよパーティーをする」「海まで歩く」「たいよう米を食べる」「足りなかったらスーパーへお買い物へ行く」「夜は花火」「みんなでカルタやトランプゲーム」「きもだめし?」と盛りだくさん。「海まで歩く」では途中から降り出した雨で中断・・・などなどアクシデントはあったものの14人そろってお泊り出来た事は子ども達にとって、大きな自身と喜びそして力になったと感じる活動でした。

翌日の保育日(保育園スタイルの子にとって最終登園日)には、7人のたいようさんが登園したのですが、午後になりその7人で集まり何やら相談。時々先生に助けをもらいながらも子ども達でホットケーキを作り上げ、小さい子と先生たちにプレゼントしてくれ、最終日を自分たちで素敵に彩ったのでした。

最後の最後まで子ども達の成長、子ども達の力には驚かされ、そして先生たちにとってもうれしい一日でした。

そして4月はるはたのしいうれしい出会いがいっぱいです。ドキドキするけどドンと行きましょう!

(ゆうこ)

わとと・あおぞら

子育てなかま—つながることがパワーの源

転勤の方の利用が多いわととでは、3、4月は「さよなら」と「はじめて」の寂しく、うれしい季節です。

一年前、「0歳児あつまれ！」(年齢別)の講座で出会い、つながり子育て時間を一緒に過ごしてきたママたち。

“もうつかまり立ちしたんだね。離乳食どうしてる？夜泣きがづらいの～”

悩みも嬉しさも同じ頃、ちょっと先行くママの仕草を真似したり、話を聞いてもらう中で、“悩んでいるのは私だけじゃないんだ！困っている、と言っているんだ。私の子育てこれでいいのかも！”と思えたら、気持ちにゆとりがでて、子育てが楽しくなったんです。今年もここで一緒に子育てしていきかけたな。”

今はドキドキ不安の中でのお別れだけど、つながる素晴らしさをいっぱい感じたママたちだから、新たな出会いを見つけるパワーがあると思うよ。と、ぎゅっと握手で背中を押すスタッフです。いつでも里帰りしてね、待っているよ！

<かよみ>

城東子育て支援センター あんと

静岡市より指定管理を頂いて1年が経ちました。毎回80～100人強の利用者が来所してくださる皆さんと、支えてくださっている方に感謝のきもちでいっぱいです。

この3月は、転勤が決まり引っ越しの方が多かったですね。1週間後には、行かなければ・・・子どもがいて大変！！というお母さんたち。引っ越し楽々パックをつかいます・・・

4月から育休が終わり、仕事復活ですよ、先生どうしよう！！さみしい・1歳であずけるなんて可哀想かしら・・・？・ぜったいに泣くよね、どうすればいい??とお母さん達からの相談がいっぱいでした。いろいろな考えがあり、これが正しいというのは無く最終的な決定は、夫婦が決めればいね！をメッセージにお話をききました。お母さんが生んだ子どもだけど、育てるのは多くの人の愛をいっぱいもらえることが大事だよ、たくさんの人にかわいいね・・・って抱っこしてもらったり、関わってもらう中で1人のひとが育つと思うよ、もちろん私だって、今でも、自分の友達・職場の仲間に沢山お世話になってるんだよ～と話しました。泣くことは、主張していることだから、おそれず早く安心できる先生やお友達・あそびが見つかるといいなあーと、たのしみに応援しながら見守ろうね！！という、大きくうなずき笑顔が戻りました。これからは気軽に話せるあんとにしていきたいです。

< せり >

まほろばの部屋から

「また来るね」「待ってるよ」

3月、まほろばから3人の子ども達が巣立っていきました。まほろばの卒業は、はっきり決ま
ていません。子ども達とお家の方に託されています。

めいっばい2年生になる前の子(まほろばは1年生までなので)、お引越しをされた子、入学を期
に巣立った子もいます。

園や、学校、お友達が居場所になっていけばそれでいいし、お母さん達は続けたくても、「1
年生は行かないの!」と自信を持って宣言をして卒業する子もいます。

たった月2回の活動をととても楽しみにしてくれていることを見聞きすると、子ども達にとっての
「まほろば:安心できるいいところ」だったのだなと実感し、お父さんお母さんにとってもこれか
らなにかあったら頼れる「まほろば:安心できるいいところ」として、存在し続けたいなと思いま
した。

<ハル>

なのはなガーデン

4月1日小規模認可保育園「なのはなガーデン」が開園しました。

この日はパパやママたちと一緒に登園し、みんなで「こんにちは。これからよろしくね」と
ごあいさつ。新しい仲間がたくさん増えてうれしいですね。

なのはなガーデンには、多くの方々の力の結集でとても素敵な園になりました。

外壁のレンガ、部屋の壁は法人のスタッフやその家族の手作りです。室内やおもちゃひとつ
ひとつにもこだわりをもって作りました。

設計された方が「あおぞらの保育を形にしてみました」とおっしゃっていたのがとても印象
的でした。

建物に負けないよう私たちも保育をしていかななくてはいけないなあと改めて思いました。

ぜひお近くにお越しの際には、のぞいていって下さいね。

どうぞよろしく申し上げます。

(すえ)